

問 中学校の統合は

横尾正文議員



答 2校体制の答申

**Q** 学校配置検討委員会の答申の結果について、また他のクラブ状況も同じで今後クラブ活動の充実を図れない。

**A** 油木中学校野球部は、豊松中学校と合同チームの15名で活動しているが、来年度においては、3年生11名が卒業するので活動も困難になる可能性がある。

**Q** 油木・神石・豊松各中学校のクラブ活動の現状は。

**A** 教育長

**Q** 学校配置検討委員会は、中学校2校体制を答申され、教育委員会ではこのことを尊重していくことを確認している。

**A** 教育長

**Q** 地域の人や保護者から反対者が出てきた場合の対応は。

**A** 教育長

**Q** シルトピア地区には体育館やグラウンドがある。これを利用して此処に統合中学校を建設してはどうか。

**A** 教育長

**Q** 神石小学校の建て替えは。

**A** 教育長

**Q** 地元材を利用しているが、鉄骨建築にした理由は。

**A** 教育長

**Q** 保護者は工法よりも、早期の建て替えによる安全性をのぞまれている。そこで、工期の短い方法を選択した。



油木小学校運動会

問 無医地区などの対策は

松本彰夫議員



答 交通の確保を検討

**Q** 県が移動検診車による巡回診療を取り組む。内容を見ると、医師・看護師などのスタッフは、町立病院が準備し、対象地区も無医地区に限定され、あまり期待できない。

**A** 町長

**Q** 町としては、現在月2回行っている油屋地区への巡回診療に1回使用するかと答弁されている。県や関係市町との協議はいつ頃行われるのか。

**A** 町長

**Q** 本町では、通院が困難な人が沢山おられる。具体的な対策は。

**A** 副町長

**Q** 町立病院でも看護師などが不足している。その対策として現場から遠ざかっている看護師の人に復職してもらえないか。

**A** 町長

**Q** 医療従事者を育成するために奨学金制度を創設してはどうか。

**A** 町長

**Q** 二次医療でも望む住民に対し、医師確保（外科、整形外科）が



ふれあいバスで通院（町立病院）

問 町立病院の現況把握と将来展望をどう考えるか

片山元八郎議員



答 一次医療・療養併用型が望ましい

**Q** 「おらが病院」として発足以来、3年目となるが現況把握は。

**A** 町長

**Q** 平成21年度の入院患者数は、2万8318人で、病床稼働率は82パーセント、平成22年度の入院患者数は、3万910人で、病床稼働率89パーセント。利益が出ている。

**Q** 当直医一人では、緊急往診時（死亡診断書交付など）に対応できないのでは。

**Q** コンビニ受診の実態があるか。

**A** 福社課長

**Q** 福山市民病院では、コンビニ受診を防ぐため、紹介状なしの初診は1575円加算される。

**Q** 契約終了後の見通しは。

**Q** 総合病院でなく、第一次医療を目指すべきでは。

**A** 町長

**Q** 二次医療でも望む住民に対し、医師確保（外科、整形外科）が



新しいCTスキャン機器

**Q** 困難なことの周知をすべきでは。

**A** 町長

問 新政権下の本町行財政運営は

小林 貢議員



答 財政健全化を第一に

**Q** 本町22年度決算について「100年に1度あるかないかの過ぎ過ぎた決算」と町長自ら評価され、町民に自信と元気を与えられたと思う。それは国の各種景気対策臨時交付金等々を最大限有効活用され、大プロジェクトが成し遂げられた成果からである。

**A** 町長

**Q** 本町では、松下政経塾一期生で、戦後3番目に若い54歳の総理95代野田内閣が誕生したが、政局迷走に歯止めがかかるのか

**A** 町長

**Q** 財政健全化を第一に、財政規律をきっちり守りながら、定員適正化計画、公債費負担比率等の更なる計画をもつての取り組みが必要と思っている。



仙養ヶ原石彫プロジェクト